

エンジニアも
営業も、
全員経営！



全員経営を目指す企業の「会計リテラシー基盤づくり」 IFRSの考え方

全3回

社員一人ひとりが、自律的に考え利益を生み出す「全員経営」。
その自律的思考のベースとなるのが会計リテラシーです。
IFRSの理解を深めて直面する事象・課題への対応力を身に付けましょう。

集合研修
ライブ配信

- 開催日 ①8月3日(火) ②8月17日(火) ③8月25日(水)
- 申込期限 各回の開催3日前まで

実務中級者向け
2時間×3講座で、
IFRSをマスター！

会員限定
オンデマンド
講座

- 配信期間 10月12日(火)～翌年1月12日(水)
- 申込期限 12月22日(水)まで
2021年度よりお申込方法が変わりました。詳しくはHPをご覧ください。

セミナーの
狙い

IFRSを任意適用する企業が徐々に増えてきているが、IFRSはどのような考え方に基づいて開発されているのだろうか。また、理解が難しいというよりも、腑に落ちないIFRSに遭遇したことはないだろうか。現行のIFRSの解釈も重要であるが、背後にある考え方や不思議な会計処理の背景などを理解し、これからのIFRSを見極めることは、IFRSの任意適用をしている場合はもとより、今後の対応を検討する際にも必要であろう。

このセミナーでは、各IFRSの横断的な論点に触れることによって、可能な範囲でIFRSの適切な理解に努める。さらに2018年3月改正のIASBの概念フレームワークを踏まえて、概念的な位置づけを確認し、IFRSにおける今後の方向性や検討課題の把握などに役立てたい。

講師




秋葉 賢一氏 早稲田大学 商学大学院 大学院 会計研究科 教授

会計リテラシーの基盤づくり

2時間×6講座

IFRSの考え方 プログラム

各回テーマ・ポイント

<p>第1回</p>  <p>8月3日(火) 14時 開催</p>	<p>ポイント</p>	<p>IFRSでは当期純利益よりも包括利益を重視しているのか</p> <ul style="list-style-type: none">• わが国との大きな相違といわれているその他の包括利益(OCI)やリサイクリングについて• 2018年改正のIASBの概念フレームワークにおける当期純利益の説明• 狭義のリサイクリング(=会計基準上のリサイクリング) と広義のリサイクリング• 2019年12月公表の公開草案 (ED) 「全般的な表示及び開示」の位置づけ	<p>2時間</p>
<p>第2回</p>  <p>8月17日(火) 14時 開催</p>	<p>ポイント</p>	<p>IFRSでは公正価値の統一を目指しているのか</p> <ul style="list-style-type: none">• 2018年改正のIASBの概念フレームワークにおける測定基礎• IFRS第9号における金融資産の分類・測定と減損• IFRSにおける減損	<p>2時間</p>
<p>第3回</p>  <p>8月25日(水) 14時 開催</p>	<p>ポイント</p>	<p>IFRSではヒトもオンバランス化しようとしているのか</p> <ul style="list-style-type: none">• 2018年改正のIASBの概念フレームワークにおける認識・測定• 1970年代からある人的資源のオンバランス化の議論• モノ(使用権モデルや資産除去債務)と同様の考え方によるヒトのオンバランス化• 統合報告における人的資本のオンバランス化	<p>2時間</p>

申込方法

集合研修・ライブ配信は、QRコード、またはURLからお申込みください。
オンデマンド講座は、配信開始日より受付を開始します。詳しくはHPをご覧ください。

<https://business.form-mailer.jp/fms/4ddc5b0a145572>



※お申込時にご記入いただいた個人情報は厳密に管理し、当法人の教育プログラムのご案内、及び企画・開発のためにのみ使用いたします。

受講料

- 会 員 無料 (法人会員は3名まで無料、3名を超える場合は1名あたり1講座につき3,000円)
- 一 般 各回10,000円 (事前振込制、申込後に請求情報をメールいたします)

お問い合わせ先

一般財団法人会計教育研修機構 役員・実務家研修グループ

E-mail : seminar@jfael.or.jp
TEL 03-3510-7863